



〈図② 幼保小の接続のイメージ〉

教育課程の作成

うになりました。
交流活動を行うことによって、園児が小学校生活への関心を深めたり、見通しをもったり、小学生が成長したりといったように、段差（違い）の解消に向けてお互いが有益な活動になっていることがわかります。

幼保小で、「聞く力」「生活する力」「かかわる力」等ブロックごとに子どもにつけてい力を決めて、その力を育む取り組みを双方で進めています。さらに、より具体的な内容や活動場面を設定し、入学前の幼保では「アプ

◆取り組みを通しての感想

- 一緒に活動することで親近感が生まれ、子どもが、小学校への憧れや期待をもつようになった。
- 交流事業があることを楽しみにする姿が見られた。
- 異年齢の学年と触れることや給食の試食等を通して不安が解消された。
- 小学生をまねする姿が見られるようになった。

ローチカリキュラム」を、入学後の小学校では「スタートカリキュラム」を作成し、計画的に子どもたちの保育や教育を行っていきます。(図②)

幼稚園・保育所(園)では、遊びや生活の中で教師が意図的にこれらの力がつくように場面設定をしたり、環境を整えたり工夫しています。

小学校は、45分の授業時間ですが、入学当初は、45分を20分や15分などいくつかに分けて子どもたちの学習意欲が続くように配慮します。

また、教科書中心の授業ではなく、各教科に具体的な活動や体験など遊び的要素を取り込んだ学習の工夫をしています。

このように、子どもの実態を重視し適度な段差になるように、およそ1ヵ月程度の期間をかけ丁寧に学校生活に慣れるよう授業を進めていくことが大切だと考えています。

- 幼保小で同じ目的に向かつて進んでいけるので指導がしやすい。
- 教員間の交流が深まり、新入児への理解が深まった。
- 交流事業や連絡会をする中で、幼保小の職員の連帯感が深まってきた。

幼保から小学校へ入学後の子どもたちの生活がスムーズに行えるように、市内の保育士・教職員が協力して、幼保小の連携を深めています。

教育委員会でも、保護者の方々が心配なことや不安なこと、気になること、どんなことでも相談できるように窓口も開設しています。遠慮なくご相談ください。子どもさんのご入学を心からお待ちしています。

国東市教育委員会 学校教育課

☎0978-73-0066

平成24年度 家庭教育講演会

- 日時** 3月14日(木) 午後6時30分～
- 場所** アストくにさき マルチホール
- 講師** 大分県東部保健所国東保健部
管理栄養士 安達 悦子さん
- 演題** 「家庭と連携した食育をすすめるために」
- 対象** 幼児・児童の保護者の方(特に小学校入学前のお子さんの保護者)
- 問い合わせ** 生涯学習課
☎0978-72-2121